



2022年11月1日発行
 (毎月1日発行)
 1984年8月15日第3種郵便物認可
 発行所/(公財)熊本YMCA
 〒860-8739
 熊本市中央区段山本町4-1
 Tel 096-353-6397代



ながみねファミリーセンター運営委員 熊本ひがしワイズメンズクラブ所属
 2022年度YMCA年末募金実行委員

田上 裕章 さん

「保護者」から「ボランティア」へ

「YMCAって昔からあったかい印象があったんですね」と語るのは家族で看板制作会社を営んでいる田上裕章さん。高校受験を控えた中学生時代にながみねファミリーセンターの学習教室に通い始めたのがYMCAとの出会いでした。「高校に合格したら、お祝いのお菓子パーティーがあったんです。その時のことが今も印象に残っています」。自宅はながみねファミリーセンターの近く。結婚後、子どもたちに水泳や体操を習わせたいと思った時も、自然とYMCAが思い浮かんだと言います。「息子は水泳教室でなかなかやる気が出なくて心配した時期もありました。でもリーダーが“今日はこんなことが出来ましたよ”と励ましてくれましたね」。

田上さんが、ボランティアとしてYMCAに関わるようになったのは、SNSがきっかけでした。10年ほど前にお嬢さんの新体操の発表を見に行こうとYMCAのチャリティ行事に参加。その様子を自分のSNSにアップしたことがYMCAの活動を支援する国際的団体であるワイズメンズクラブのメンバーの目に留まります。「その方が突然私を訪ねていらっやあって“ワイズメンズクラブに入らないか”と誘われました。YMCAには子どもがお世話になっているので、自分が出ることがあればという気持ちで引き受けました」。その後、ながみねファミリーセンターの地域活動をサポートする運営委員も務め、現在に至ります。

Y
M
C
A
を
通
し
て
、
誰
か
の
た
め
に
“

ピントがあった熊本地震

「はじめはよくわからなかった」という運営委員とワイズメンズクラブの活動ですが「面白い人が多かったから」と続けていくことに。そんな田上さんにとって2016年の熊本地震は一つの転機になりました。

地震の前年から熊本YMCAが指定管理者として運営していた益城町総合体育館が、県内最大規模の避難所に。全国のYMCAから協力者が派遣され、総力を挙げて運営がなされる中、ボランティアが大きな力を発揮しました。「YMCAを通して自分も人の役に立てている。“YMCA活動の支援＝地域の人たちの支援”であることがわかってピントがきました」。

熊本地震は寄附について考える機会にもなったと言います。発災後ながみねファミリーセンターには100名近くの地域の皆さんが集まり一時的な避難所に。運営委員やワイズメンズクラブが協力しながら運営しました。「そんな時、京都のワイズメンズクラブが“支援物資を送りたい”と申し出てくれたんです。でも、避難所の状況を考えて、“物資はいいから運営する資金がほしい”と伝えました」。すると、すぐに支援金が送られたと言います。「涙がでるほど嬉しかった」と田上さん。支援金は避難所の運営や防災設備の拡充に充てられました。「はじめは“お金が欲しい”というのは恥ずかしく思ったのですが、『今、何が 필요한のか』を素直に伝えられたことが相手にも響いたようでした」。

YMCAだからできること

今後はコースリーダーたちの支援にも力を入れたいという田上さん。「コロナの前は研修会を企画するなど、リーダーとの活動が結構あったんです。若い人たちのアイデアは、私たちにはないもの。YMCAのボランティアにはいろんな職種の人がいるから、具体的に“こういうことをしたい”と言ってくれたらサポートができるし、資金的な支援もできるかもしれない。YMCAには、自分の考えをしっかりと持っているコースリーダーがいますよね。社会人になって、リーダーを卒業しても、できればYMCAと関わり続けてほしいです」。

田上さんは11月から始まるYMCA年末募金の実行委員です。「年末募金でも“こういうことをしたい”と具体的に訴えることが大切。例えばながみねファミリーセンターでは東ティモールの子どもたちを支援しています。自分が関わる身近な活動について1対1で丁寧に訴えていきたいですね」と語ります。

「“地域の子どもたちのために”とか、“外国の子どものために”というのは、多くの子どもたちが通い、また、世界規模のネットワークがあるYMCAだから取り組めること。コロナ禍が続いて、みんな大変な時だと思うけれど、私たちの志に応じてくれる人がきっといると信じて、YMCA年末募金に臨みたいですね」。



東ティモール支援のためのぶどう販売

Pickup

秋の運動会特集

「かっこいいでしょ！」
 永草保育園運動会



「障害物も
 平気だよ！」
 水前寺幼稚園
 運動会

歌にあわせて
 表現あそび
 熊本五福幼稚園
 運動会



YMCA

年末募金

こども 若者 国際協力

出会いとつながりを大切に
これからも希望のあるより豊かな社会をつくれます。



こども

ながみねファミリーセンター
水泳教室
野外活動クラブ在籍生

藤元 結心さん(小学3年生)、
美紀さん(お母様)



娘は3歳の頃から水泳教室に通っています。今年の3月からは野外活動クラブにも入会しました。私一人では、なかなかキャンプに連れて行けないので本当に助かっています。

結心が生まれて9カ月の時に夫が事故でなくなりました。参加費減免制度を使わせていただき心より感謝しています。私たちだけでなく、たくさんの方がYMCAの募金に助けられているのだと思います。自分にも出来ることがあればと思い、昨年は娘と一緒にYMCAの街頭募金に参加しました。

娘には助けてもらうだけでなく、周りを助けられる人に成長してほしいです。それは国際的な活動やSDGsに取り組むYMCAの理念ともつながっていると感じています。

※参加費減免制度／ひとり親家庭などの理由で経済的な困難を抱える子どもたちのYMCAプログラム参加費を補助する制度。費用は年末募金の一部によって賄われている。

若者

YMCA学院
児童福祉教育科3年
松田 海斗さん



高校生の時から保育士になることを決めていました。我が家はひとり親家庭。家族を少しでも楽しみたいと思い、YMCA学院の特別奨学生制度を受けました。私は入学後に学校への提出物が遅れることもあり、今振り返るとだらしな部分がありました。ある日、奨学生制度が募金で成り立っていることを知り、自分は、皆さんの期待を背負っているのだと分かりました。それから、自分をもっと正していきたいと考えるようになりました。奨学生制度を利用したことで、授業料が減免されただけでなく、大切なことに気づくことができました。YMCAの教室に掲示してあった「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」という言葉が印象に残っています。楽しいことだけでなく、子どもたちの喜怒哀楽すべてに寄り添える保育士になりたいです。

国際

タイ北部山岳少数民族
若竹寮 在寮生
スリラット イェルクさん



私は15歳です。職業訓練校の1年生でホテルの経営を専攻しています。私の姉は職業訓練校を3年通い卒業しました。

私はこの春から若竹寮に住んでいます。寮生活はとても楽しいです。寮の友だちは親切で助けになってくれます。寮長はたまに厳しいですが、とても私たちに優しくしてくれます。寮に来たはじめは新しい環境に馴染めるか心配でした。でも今はすっかりここにいる人たちや環境に慣れることができました。私はこれからしっかり勉強して、寮生活を送ろうと思います。勉強の支援をくださり、本当にありがとうございます。健康にお過ごしください。

※若竹寮／タイの山岳民族の子どもたちが共同生活を送りながら街の学校に通えるようにと開設した寮。日本の里親や募金等の支援により運営している。

募金の使途

こどもたちの支援

学生・留学生の支援

健康・福祉支援

ボランティアリーダーの育成

国際協力

災害復興支援

募金の方法

1 持参

お近くのYMCAセンター受付にお持ちください。

2 お振込み・クレジットカード

郵便振替や銀行振込、クレジットカードで受け付けています。

お振込み先等はWebサイトをご確認ください。



3 街頭募金

県内各地で街頭募金を実施します。会場・スケジュールはWebサイトでご案内します。



4 行事への参加

12月10日(土)には市民クリスマスを開催(4面に関連情報)。各チャリティ行事も工夫をしながら新たなチャレンジをしていきます。

5 募金箱の設置

設置可能なお店等がありましたら、お申し出ください。



YMCA年末募金

【期間】2022年11月1日～2023年1月31日
募金方法・詳細はWebサイトでご確認ください。

熊本YMCA 年末募金



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさ

R | E | P | O | R | T

[9月7日⇒ 10月7日]

SDGs

3企業の事例から学ぶ フィランソロピーセミナーを開催

9 | 10

県内の企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が、9月7日(水)、フィランソロピーセミナー「3企業の事例から学ぶ～今、企業が取り組むSDGs～」を肥後銀行北熊本支店で開催。各企業が今、どのような取り組みを行っているのか、協会の会員企業である3社が自社の取り組みを紹介しました。

株式会社肥後銀行はカーボンニュートラルを達成するための植樹活動や使用済み食用油を燃料に用いるプロジェクト等、多彩な事例を紹介。リコー

ジャパン株式会社からは、SDGsを働きがいや誇りにつなげている全国の取組みについて説明がなされました。ザンビアに雇用を生み、質の高い紙製品をつくるバナナペーパーや里山を荒らす竹を地域の力で美しい紙に仕立てる竹紙など、紙製品を通してSDGsに貢献する事例を紹介したタカタペーパープロダクツの高田加代子さんは「SDGsは一足飛びにはできないけれど、諦めないでやり遂げることが私たち人間の責任ではないでしょうか」と来場者に語り掛けました。

職員 辻健太郎



ユース

全国から集結 リーダー研修会を開催

16 | 17

9月23日(金・祝)から2泊3日の日程で、第53回全国YMCAリーダー研修会が開催されました。YMCA阿蘇キャンプを会場に、全国17のYMCAから65名のリーダー、24名のスタッフが参加。「LOVE～みんなであそぼう～」というテーマのもと、社会学者の宮台真司さんと神戸YMCAキャンプディレクターの阪田晃一さんを講師に迎えました。両氏の対談や、ユースリーダーたちとのディスカッションを通して様々な学びを得る機会となりました。

対談は、「社会の枠を壊せ」というメッセージから始まりました。枠にとらわれないということは何な

のか、私たちユースリーダーは様々な言葉から自分自身と向き合い、深く考えさせられました。ディスカッションでは、グループに分かれ、話し合った内容をさらに深めました。2日目の夜は、焚火を囲んで語り合ったり、部屋にこもって話し込んだり、仲間同士、自分の思いを伝え合いました。

参加したリーダーたちが当事者となって、この経験を全国のYMCAへと広げていくことで、これからのリーダー活動につなげていきたい思います。

第53回全国YMCAリーダー研修会実行委員長 下田大雅



国際交流

学びと交流を 日本語の会がスタート

10 | 11

台湾友好特別企画「YMCA日本語おしゃべりの会」がむさしセンターでスタートしました。海外企業TSMCの進出により、台湾の子どもたちがむさしセンターの水泳教室に通うようになったことがきっかけです。保護者や同郷のお友だちを対象に生活に役立つ簡単な日本語、熊本生活での困り事解決、おいしいお店の情報などを紹介。そして台湾のことを私たちにも教えてもらう緩やかで和やかな勉強会を目指しています。

10月7日(金)に第1回を開催。自己紹介にはじまり、簡単な会話練習をスタートしました。やさしい日

本語を中心に英語、台湾語、ジェスチャーを駆使してのおしゃべりをしました。台湾の人たち同士も、本会で出会った人が多く、新しいコミュニティが生まれました。

会の楽しみの一つは「おやつタイム」。むさしセンター近隣のお饅頭屋さんの名物、甘酒饅頭を食べました。

台湾の人たちが熊本に来て良かったと思ってもらえるように、今後も毎週金曜日に熊本の文化や伝統、娯楽等を紹介していきます。

職員 松本光広



COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.12

総主事 光永 尚生

「明日」には、「今日」が過去になる
～真実の瞬間
THE MOMENT OF TRUTH～

私たちは毎日、懸命に生きています。一人ひとりが、まったく違った人生のストーリーを描きながら1日1日を過ごしています。ある時は、食

を考え、ある時は学びながら、そしてある時は思案などしながら、毎日の時を刻んでいます。時には、自分が幸せだと感じたり、反対に自分の不幸を嘆いたり、自暴自棄になりそうなときもあります。そんな時、私たちは言葉と出会います。私のデスクカレンダーは、カトリックのシスターであった渡辺和子さんの言葉の日めくりを置いています。今日の言葉は、「あなたはごたいせつなのですよ」でした。

何気なく、「はっ」とする言葉に、何度も出会っていました。そして、その瞬間は、あっという間に過ぎていきます。しかし、よく考えてみると、その瞬間は、ただの時間ではなく、私たちの心に響

く、「真実の瞬間」であると想います。熊本には「ヒライ」という有名なお弁当チェーン店がありますが、割り箸には「一期一会」と書いてあります。よくよく考えてみると、一期一会とは、まさに真実の瞬間=THE MOMENT OF TRUTHです。そして、その瞬間は、瞬く間に過ぎ去り、1日は終わり、眠りにつき、翌朝を迎えます。そして、真実の瞬間と出会った今日は、昨日となり、明日には「今日」が「過去」になります。人生とは、なんとも不思議で楽しいものの連続で、できているのかもしれませんが。私たちは、これからも1日を過ごしますが、平和を願う毎日を祈りながら大切にしたいものです。

Information 行こう 見よう 深めよう

11月27日~12月4日

YMCAインターナショナル・チャリティーラン

3 10

チャリティー × 走る

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちも、そうでない子どもたちも、ともに幸せに生きていける社会を目指して、全国で開催しています。今年の熊本大会は、期間中に各自で行ったラン・ウォーク等の距離をオンラインで申告し、総合距離2,022kmを目指します。



回11月27日(日)~12月4日(日)

※11月27日(日)オープニングラン

(開会式 園益城町総合運動公園) 園個人(小学生以下) 500円/個人(中学生以上)1,500円/ファミリー 1家族 2,000円/チーム(5~10名)10,000円他 ※益金は、YMCAの障がい児支援プログラムに用いられます。お申込みはWebで。 園熊本YMCA本部事務局 Tel 096-353-6397



12月10日 Saturday

市民クリスマス2022

16

チャリティー × クリスマス

クラリネット奏者の柳瀬洋さんらを招き、コンサートを開催します。ルーテル学院ハンドベル部も出演。益金は2020年7月豪雨被災者復興支援やウクライナ支援等のために用いられます。



回12月10日(土)13:00開場 13:30開演

園熊本白川教会(熊本市中央区九品寺)

園チケット全席自由 1,000円(高校生以上)

園チケット取扱 熊本YMCA各施設

園市民クリスマス2022実行委員会

園熊本YMCA 学院 Tel 096-353-6393

YMCA阿蘇キャンプ70周年記念特集 4

カウントダウンキャンプ

詳しくは Webで▶



阿蘇の大自然の中でリフレッシュしながら、楽しく新年を迎えましょう。

回1泊2日 2022年12月31日(土)~2023年1月1日(日)

園集合・宿泊・解散 YMCA阿蘇キャンプ(阿蘇市車帰) 園大人(中学生以上)

14,000円/こども(小学生) 11,000円/未就学児 7,000円

園YMCA阿蘇キャンプ Tel 0967-35-0124



水前寺幼稚園 Yっこ教室 そろばんクラス



小学1年以下の部 (写真右から)

甲斐 千葉さん

個人総合競技 熊本県3位

全国個人総合競技 70位

読み上げ暗算競技 熊本県優勝

森本 大河さん

個人総合競技 熊本県4位

全国個人総合競技 85位

甲斐 千智さん

個人総合競技 銅賞

園水前寺幼稚園

Tel 096-362-4141

2022年度全国あんざんコンクール熊本大会(主催:日本珠算連盟・各地珠算連盟)において、YMCA水前寺幼稚園Yっこ教室のそろばんクラスに通う3名が右記の成績を収めました。3名は水前寺幼稚園在園時からそろばんを習い、卒園した今も、継続しています。

回日時 園会場 園内容 園参加費 園定員 園参加条件 園持ち物 園対象 園主催 園締切 園申込 園問合せ 園その他

わたしと聖句



日本福音ルーテル熊本教会・玉名教会

小泉 嗣

マタイによる福音書6章8節

「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ。」

私に必要なもの？

先日「受験生」をしてきました。学生時代から続く私の勉強嫌いは1ミリの狂いもないのですが、思うところあって資格試験に挑戦しました。たいした経験も、その筋の知識も乏しい50歳目の私の、仕事の合間を縫っての受験勉強ですから、全くといってよいほど暗記したい年号や人名が頭に入りません。そういえば最近口ずさむ歌は昔覚えたものばかり。調べものはスマホだより。自業自得だと嘆きながらの受験勉強でした。

結果は散々でしたが、それでも嬉しいことが一つだけありました。それは受けた試験が福祉系のものであったことが大きな理由だとは思いますが、問題の例に登場する人物が、これまで私が牧師やチャプレンとしてかかわったことのある方々の境遇と似ており、問題を読みながらAさんやBくん、Cさんの事を思い浮かべて取り組めたのです。正否はともかく、試験問題の上でたくさん知った顔と再会し、懐かしんだり、また何もできなかった自分を思い出したり、試験中にもかかわらず、思いきり物思いにふけさせていただきました(試験監督からはちょっと奇異に映ったかも)。もしかすると神さまは、試験として試験の場を与えたのではなく、これまで出会って来た方々と向き合うようにと、この試験の場を与えてくださったのではないかと、そのようにさえ思います(決して受験失敗の言い訳ではありません)。

人であれ試験であれ、神さまが私に「必要なもの」として与えてくださる出会いに感謝しつつ...

発行所/ (公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)

発行人/ 光永 尚生 編集人/ 辻 健太郎
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウェルネス活動 平和な世界

2022年度基本聖句

イザヤ書 40章31節

主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることはなく、歩いても疲れない。